

## ディプロマ・ポリシー

本学の教育は、建学の精神「明徳・格物致知の実践」に則り、看護専門職・看護学士として以下の能力の持てる人材を育成する。

### 智をいつくしむ力

#### 1. 科学的論理的思考力：エビデンスに基づいた科学的知識と論理的思考力、的確な判断力と深い洞察力を持つ。

- ①自分の考えを他者に理解できるように伝える（書く、話す）ことができる。
- ②事象（ものごと）を批判的に検討することができる。
- ③課題や疑問を解決するために、必要なデータを収集・分析し、そのプロセスを他者に説明できる。

#### 2. 探求力と生涯学習能力：知的好奇心と真理の探究力を伸長し、看護専門職者として自律的、主体的に、国内・国際社会に向けて発信しつつ、生涯真摯に学び続ける力を持つ。

- ①自ら自己の課題を発見し、課題に対して継続的に取り組むことができる。
- ②看護専門職者を目指す者として、学び続ける意義を理解し、実践できる。
- ③国内外の人々の健康に関する課題に関心を持ち、課題解決について探求できる。

### 人をいつくしむ力

#### 3. 全人の人間理解：幅広い教養と豊かな感性をもって、全人の人間理解を深める力を持つ。

- ①人間を生物学的に理解できる。
- ②人間を統合された全体として機能する全体的存在であることを理解できる。
- ③人間の健康と生活行動の関係について理解できる。
- ④人間の生活行動と生活行動への影響要素について理解できる。

#### 4. ケアリングとコミュニケーション：自己と他者をありのままの存在として受け入れ、唯一無二の存在として尊重し、敬意とケアリング（他者への思いやり・気遣い）をもっていつくしみ、深く相互的なコミュニケーションを結ぶ力を持つ。

- ①自分とは異なる多様（生物学的・心理学的・社会文化的・環境的・政治経済的）な背景について理解し、尊重できる。
- ②敬意とケアリングとは何か理解できる。
- ③自分とは異なる人々に対し、ケアリングをもってコミュニケーションを図ることができる。

### 命をいつくしむ力

#### 5. 職業倫理と人権擁護：看護専門職としての自覚と高い倫理観を以って、人間の命と尊厳を尊重し、人権を擁護する力を持つ。

- ①倫理的感受性（理論と原則の知識をもとに価値や価値の対立を認識する能力、および、道徳的、倫理的な問題を同定する能力）を培うことができる。
- ②看護専門職の職業倫理を理解できる。
- ③看護専門職の職業倫理に基づいて行動できる。

#### 6. 適切な看護実践：専門的かつ創造的で質の高い、適切な看護実践能力を持つ。

- ①看護の対象、目的、方法について、説明できる。
- ②看護の対象について、エビデンスに基づいた科学的、論理的なアセスメントができる。
- ③科学的論理的なアセスメントに基づき、看護の対象に必要な生活行動看護の方法を創出できる。
- ④智、人をいつくしむ力を基盤に、いつも・どこでも・誰にでも、その方にとっての健康を考えた生活行動看護を実践、評価、修正できる。